

令和 6 年度 伏木富山港・海王丸財団事業計画書

海王丸パーク入込数はコロナ禍以前の賑わいが戻りつつあり、令和 5 年の年間の入込数（1～12 月）は 875,900 人と前年比 60,400 人増（+7.4%）であった。

帆船海王丸の総帆展帆は、荒天や夏の異常な暑さなど天候に恵まれず、予定していた 10 回のうち 6 回が中止となったが、海洋教室は予定していた 20 団体を受け入れ、宿泊は 6 団体（昨年度は 1 団体）を受け入れた。

春・夏・秋の大型自主イベントを予定どおり開催するとともに、民間団体等による音楽・フードフェス、マルシェ、釣りイベント等、多彩なイベントが海王丸パークを会場として催された。

令和 6 年 1 月 1 日に発生した能登半島地震により、当財団が指定管理する施設にも液状化や地盤の隆起・沈下等の被害が発生したが、応急措置により閉園期間を最小限にとどめ、現在は一部制限エリアを除き通常どおりの運営に戻っている。今後は、県や市、関係機関と協力し、地震前の状態に戻すための本格的な復旧に向け取り組んでまいりたい。

新湊マリーナについては、専門業務（クレーンによる船の上下架等）の受託と給油販売等の運営の中核を行ってきた民間業者が 3 月末をもって撤退するため、令和 6 年度からは財団の直営となる。利用者のことを第一に、切れ目のない運営の移行を進めるとともに、更なるサービス向上に努めたい。

I 海王丸パークの管理運営事業

平成 4 年オープン。雄大な「立山連峰」と「富山湾」を背景に、日本海側最大級の斜張橋「新湊大橋」（平成 24 年 9 月開通）と「帆船海王丸」を一望できる県内屈指の観光スポット。射水市ベリアリアの中心として、一層魅力的な施設を目指し、管理運営に努めたい。

(1) 海王丸パークの施設管理

- ① パーク内のプランターの植栽、芝生管理、清掃等
- ② 日本海交流センター展示ホールでの世界の帆船模型展、パネル展示等
- ③ 北側緑地「展望広場」
- ④ 「恋人の聖地」記念モニュメント
- ⑤ 「世界で最も美しい湾クラブ」記念モニュメント
- ⑥ 「第 35 回全国豊かな海づくり大会～富山大会～」御製碑

(2) 財団主催イベントの実施

- ① 鯉のぼり掲揚式、花の迷路開園式 4 月 12 日（金）
- ② ちびっ子天国 in 海王丸パーク 5 月 5 日（日・祝）～ 6 日（月・振）
- ③ 海王丸パークフェスティバル 7 月 14 日（日）～ 15 日（月・祝）

- ④ 秋のファミリーフェスティバル 9月15日(日)～16日(月・祝)
- ⑤ パワーバレンタインウィーク 2月8日(土)～14日(金)

(3) 海王丸パーク関連イベント

- ① 富山新港花火大会 7月28日(日) 予定
- ② 富山マラソン2023 11月3日(日・祝)

Ⅱ 帆船海王丸保存・公開等事業

総帆展帆を10回行うとともに、海事思想の普及活動の一環として、海王丸を活用した保存・公開の事業展開を行い、海・船・港をより理解していただけるよう努める。

1 保存事業

(1) 日常保守点検、船体整備

- ① 観覧者通路・公開区域の安全点検整備
- ② 船内清掃、木甲板磨き、真ちゅう磨き
- ③ マスト、ヤード、セイル等帆装艀装設備の保守、点検、補修及びセイル製作
- ④ 船体各部の発錆部の補修、船体及び展示マスト・ヤードの塗装
- ⑤ カッター(6艇)の保守管理

(2) 法定検査等

- ① 「船舶安全法」に基づく第一種中間検査
- ② 消防設備点検

(3) 災害防止

- ① 船内防災センターにおける火災、浸水及び不法侵入者等に備えた24時間集中監視の実施
- ② 射水市消防署との合同避難訓練(夏季1回)
- ③ 津波避難訓練(秋季1回)

2 公開事業

(1) 一般公開

公開日	次の日を除く毎日 ・毎週水曜日(水曜日が祝日の場合は翌日) ・年末年始(12月29日～1月3日) ・船体整備期間 (4月6日～7日、10月31日～11月22日及び2月15日～3月7日)
公開時間	・午前9時30分～午後5時 ・季節により終了時間は変動

(2) 特別公開

① 臨時公開（１回） ８月１４日（水）

② 非公開区域の公開（３回）

機関室・セイルロッカー・作業場・食糧貯蔵庫など

１２月１５日（日）、１月１３日（月・祝）、２月１４日（金）

(3) 総帆展帆

・ 総帆展帆の実施予定日 １０回

４月２８日（日）、５月５日（日・祝）、５月２６日（日）、

６月１６日（日）、６月３０日（日）、７月１５日（月・祝）、

８月４日（日）、９月１日（日）、９月１６日（月・祝）、

１０月２０日（日）

㊦ 特別展帆（縦帆＋１１／３満船飾）の実施

※これまでは、富山マラソン開催時に総帆展帆による協力を行ってきたが、その後の帆装艀装整備工事のためのアンベンディングセイル（帆を外す）を安全に行うスケジュールを確保するため、今後は年度最終の総帆展帆を１０月下旬とする。

・ 縦帆ミニ展帆の実施予定回数 １２回

・ 展帆体験の実施予定回数 ４回

(4) 満船飾

満船飾の実施予定日 ５回

５月４日（土・祝）、７月１５日（月・祝）、８月１１日（日・祝）、

１１月３日（日・祝）、２月１４日（金）

(5) ライトアップ・イルミネーション

日没～２２時（県・市等からの依頼によるライトアップへの協力）

(6) ボランティアの育成

① 育成ボランティア数、登録者数（令和６年３月１日現在）

男性 ５０５名 女性 ３０９名 計 ８１４名

② 新規ボランティア訓練の実施 ６回開催予定

③ 「ボランティアの集い」の開催 １２月７日（土）予定

④ ボランティア表彰式 ７月１５日（月・祝）

⑤ 既存ボランティアへのフルハーネス訓練

3 錬成等事業

(1) 海洋教室の概要

海王丸での規律正しい団体生活を通じて、児童・生徒に協調性・友愛・責任感・注意力等を培い、海、船、港に関する理解と知識の増進を図る。

(2) 海洋教室の実施計画

予定参加団体 20団体 約834名

(3) 主な内容

船内探検、結索実習(ロープワーク)、甲板清掃、セイル展帆、マスト登り、カッター訓練、手旗信号、舵輪回し

(4) カッター教室の開催

イベント時にカッター教室を開催

(5) 「帆船海王丸絵画コンクール 2024」の実施

4 海事広報活動の普及・推進

(1) 「富山県インターンシップ」の受入

(2) 射水市「社会に学ぶ『14歳の挑戦』(新湊地区)」の受入

(3) 富山高等専門学校学生の受入(海王丸を活用した海事教育)

① 国際ビジネス学科(1年・2年)物流概論Ⅱ・商学概論Ⅱの授業として

② 商船学科(1年航海/機関コース・2年航海コース)海洋実習・運用概論Ⅰの授業として

(4) 富山県立滑川高校生徒の受入(海王丸を活用した海事教育)

海洋科(2年・3年)機関実習として

Ⅲ 富山新港臨海野鳥園(海王バードパーク)の管理運営

平成8年オープン。海王丸パークに隣接し、池・ヨシ原・樹林池などの恵まれた環境に、四季を通じ多くの鳥たちが飛来する野鳥の楽園となっている。近年は来園者数が減少傾向にあるため、更なる魅力発信に努めたい。

(1) 野鳥観察指導員の配置による野鳥解説の実施

日曜日、祝日を中心に、野鳥観察指導員による野鳥の解説や、観察方法のアドバイスを実施。

(2) 探鳥会の開催(5回)

4月7日(日)、11月10日(日)、12月15日(日)、

2月16日(日)、3月16日(日)

(3) 野鳥講演会の開催 3月16日(日)

Ⅳ 新湊マリーナ(海竜マリンパーク)の管理運営

平成13年オープン。水上棧橋、艇置場、大型艇用50tクレーン、クラブハウス(管理棟、オーナーズハウス、多目的広場、マリーナ緑地等)を備え、収容可能隻数で日本海側最大規模を誇る。令和6年度からの財団直営化を機に、更なるサービス向上に努めたい。

(1) マリーナ施設及び同緑地の管理運営

① 入場者利用案内業務

② マリーナ施設、マリーナ緑地の維持管理に関する業務

- ③ マリーナ艇庫、艇置き場、浮き桟橋、給油施設、管理棟、ロッカー、バーベキュー設備の使用の許可に関する業務
- ④ 施設の利用料金の徴収に関する業務
- ⑤ 保管艇の保管及び上下架（R⑥から直営）に関する業務
- ⑥ 保管艇増に伴う上記作業量増に対応した人員体制及び有資格者の確保
※R⑥マリーナ直営化による人員増のため、新たに「マリーナ課」を設置。
- ⑦ 安全管理に関する業務

(2) 施設利用契約及び料金徴収、入出港等の運営管理

令和6年3月1日現在 保管艇数 341 艇（前年同日 351 艇）

(3) 利用促進等事業

- ① マリーナでの各種ヨット教室や大会への運営協力
- ② 給油施設の運営（自主事業）
※新たに始める給油販売に注力するため、レンタルボート事業（R④～自主事業として実施）は R5 年度をもって中止とする。
- ③ ホームページ・フェイスブック等の更新
- ④ 海上保安部等関係機関及び漁業関係者との緊密な連絡
- ⑤ 販売艇の展示事業（自主事業）

V 県営渡船の堀岡発着場における運航補助業務の実施

県からの受託事業で、堀岡発着場での運航補助を行う嘱託職員（4名）の人事発令及び給与支給事務を行っている。勤務の割振、勤怠・サービス管理を行う富山新港管理局と調整しながら進めてまいりたい。